



1 / 25

中学生が地元のお年寄りに竹細工を学ぶ

財田町の和光中学1年生が、地元のお年寄りから竹細工を学びました。

これは、竹林が繁殖して森林を脅かしている環境問題と、その一方で、竹が昔から私たちの生活に利用され、有効利用する方法があることを、竹細工を通じて実感してもらおうと行われたものです。

1年生たちは、老人クラブ明正会のお年寄りから指導を受け、初めての竹細工に挑戦。2時間かけて、犬やうさぎなどの動物やスポーツする人の竹細工を作りあげていきました。



竹細工を通じて世代を超えた交流も行われました

1 / 25

小学生がため池の改修工事を見学

財田町の財田上小学校4年生が、香川県農地防災事業「池の尾池改修工事」の見学を行いました。

子どもたちは、社会の授業で「水」をテーマに学習を続けており、工事関係者からため池の役割、構造、水の大切さ、工法などの説明を熱心に聞きました。また、ブルドーザーやタンピングローラーなどの重機に触れたり、木槌を使った昔の工事の方法を聞いたりして、今と昔の工法の違いを学びました。

工事は3月に完了予定で、子どもたちは大きな池の底に立つという、今しかできない貴重な体験を楽しんでいました。



池の底に立ち、池の大きさや工事の大変さを実感しました

2 / 5

帰来昭和会が交通安全キャンペーン

豊中町桑山地区の県道で、地元の帰来昭和会と子ども会、老人会が合同で交通安全キャンペーンを行いました。

帰来昭和会は、豊中町七区・八区自治会の昭和生まれの人で構成されており、自治会内の家庭へ会員が育てた季節の花を配ったり、各種行事を子ども会や老人会と協力して行い、地域のきずなを深めています。

この日は早朝から公民館で交通安全教室を行い、その後、近くの県道でドライバーにパンジーの花の苗を渡して安全運転を呼びかけました。受け取ったドライバーは、「ありがとう。安全運転します。」とハンドルを握り直していました。



子どもたちの交通安全のメッセージを花に添えてプレゼント

1 / 29

子どもからお年寄りまで地域のふれあい文化祭

高瀬町の比地小学校で、第30回比地二地区文化祭が行なわれました。

小学生は家族ふれあい活動に参加し、竹細工（竹馬）・折り紙・おやつ作り・スポーツなどそれぞれの部門で活躍している地域の方々の指導を受けました。親や祖父母と共同で作品を作り、楽しいひとときを過ごしました。

また、体育館には、愛育会・幼稚園児・小学生や地元の皆さんの絵画や書道・工作・手芸・生け花等の力作が並び、訪れた人たちは熱心に見ていました。

午後は、芸能発表があり自慢の歌や踊りの披露に拍手あり笑いあり、会場は大いに盛り上がりました。



親子でフラワーアレンジメントを体験

2 / 9

中学生が職場体験学習

三野町の三野津中学校の2年生が、進路学習の一環として大見幼稚園で「保育体験学習」を行いました。

最初は、少し緊張して戸惑っていた中学生ですが、園庭に出ると園児の「おにいちゃん」、「おねえちゃん」のかわいい声に誘われて一緒に遊び、小さな子どもたちとの楽しいふれあいを体験しました。

また、保育している先生からは幼児教育の大切さや難しさ、そして働く喜びを教えてもらいました。教科書では学べない貴重な体験ができ、今後の進路決定に大いに役立ったようです。



おにいちゃん！おにいちゃん！子どもたちに大人気です

2 / 8

立志の記念に桜を植樹

2月に入り、市内の各中学校で立志式が行われ、詫間町では3日に粟島中学校、8日に詫間中学校で立志式が行われました。

粟島中学校では、一人だけの立志式となりましたが、全校生徒や保護者、地元の皆さんに見守られ、心温まる式となりました。

また、詫間中学校では、2年生124名が厳粛な雰囲気の中、全員で『自覚』『立志』『健康』の「私たちの誓い」を声を合わせて述べ、すがすがしい立志式となりました。

式の後、雪の舞う寒い天候の中、紫雲出山登山を行い、山頂で桜の木の記念植樹を行いました。



2年生全員で協力し合い桜の木を植えました

2 / 19

スポーツ少年団が時代劇披露

山本町の辻小学校体育館で芸能発表会が行われ、辻スポーツ少年団の子どもたちが時代劇を披露しました。

辻スポーツ少年団はソフトボールのチームで、演劇を通じてチームの結束を高めようと、2年に1度開催される芸能発表会に毎回参加しています。

昨年の秋から、毎日けいこを重ねた芝居の演目は「情けで結ばれた百姓一揆」。親子や幼い姉妹の別れのシーンでは目頭を押さえる人の姿も見られました。子どもたちの熱演におひねりも飛び交い、上演終了後は会場から割れんばかりの拍手が沸き起こりました。



上演時間1時間15分もの本格的な時代劇、みんな台詞もバッチリでした

2 / 10

幼稚園児が小学校に体験入学

仁尾町の曾保幼稚園の年長児7名が、曾保小学校に体験入学しました。

園児たちは、はじめに1年生の教室で一緒に手洗いと着替えを済ませ、ランチルームで全校児童と一緒に給食を食べました。お兄さん、お姉さんたちの間に座り、初めのうちは少し緊張気味だった園児も、すぐに溶け込み、笑い声があふれる楽しい給食となりました。

その後、昼休みを利用し、運動場で全校児童と遊び、楽しいふれあいのひと時を過ごしました。

園児たちは、もうすぐ始まる新しい生活に期待を膨らませていました。



みんなで食べるといつもよりおいしいね！